

協定案文調整に着手し

基礎

【東京特稿】日滿三國々々安定の一大礎石としてその成否如何を全世界から注視されてゐた北鐵讓渡交渉は、昭和八年六月二十六日第一回の日滿三國正式會議開始以來、一年七ヶ月にわたる折衝を重ね、この間幾度か決裂の危機に遭遇しつつ遂に二十一日午後七時から廿二日午前二時に及ぶ東郷カズロフスキー第八次會議を以て大綱、細目に關する最後の解決點に達し、北鐵讓渡はこれに實質的に圓滿なる解決を遂ぐるに至り、兩氏は益をあげて交渉成立を祝した、因つて日滿三國委員を以て組織する協定委員會に於いて直ちに協定案文調整に着手し、二月下旬に日滿三國代表の歴史的調

印を行ふ運びとなつた、北鐵譲渡交渉は開始以來、會談を遂ぐることに實に四十二回に及び、正式會見六回、中間會見六回、廣田、ユレニエフ會見二十二回、東郷カスロフスキ會見八回、一年七ヶ月の廢月を費し漸く譲渡の最後の決定に至つたものである

協定文作成委員

「東京市道」北鐵譲渡を辦する滿洲國側の協定文起草に支拂保證に關する日ソ間の交渉は公公文作成は早く開始されることとなつたが、協定文作成委員の簡略は

（日本側）外務省政務次官第一課長西春彦（滿洲國側）外交部長大橋忠一（ソヴェト側）外務人民委員會議事部長カスロフスキ

日ソ兩國の協定文は、最初日ソ英三國文を以て作成する機定であつたが、二十一日より二十二日に亘る日ソ間の交渉の結果、英譯を以て作成することに決定した、從つて日本文を以て協定文とすることは取止めとなつた

[illegible]

災害

昨午各地に
つた大震災に
おける被害の
甚大なること
は、新聞紙上
の報告を見る
に及ばない。こ
れは、明治維
新の戦災に比
し、その被害の
甚大なること
は、新聞紙上
の報告を見る
に及ばない。こ
れは、明治維
新の戦災に比
し、その被害の
甚大なること
は、新聞紙上
の報告を見る
に及ばない。

内外時局

極めて多事
多難なることは改めて述べ

[illegible]

は、断つて働かない由を囁に
たが」

「はい」とです。また、例年の
お正月のうはさをするこ
帰郷の旅を、わが事のやう

けふから第六十七議會政戰

(東京市店) 第六十七號醫院敷の本郷が、破産される廿二日は、美濃野潤なれど經好の失明である。この日、病院は、岡田首相の配、方針面があり、又北條謙蔵(對立)により俄に男及び女並外村を管掌した交際を布くとのに對し、美濃野の最高機密美濃野相親し吉川直樹は大縣省事務官人徹津田道雄に對し、美濃野の小販組に對し言論面を語るべしといふ報道

が一般大衆に向つて一大衝動を興へたと見え、この好景趣を見「すべき」とばかり押寄せ、總策は負傷院に轉嫁し、兩派に逼るとり、素に對敵攻撃防衛態勢を押すためめを以てして来た、美濃野の面上には矢張り色がありと浮んできた。

財政行詰りの心配無用 //

貴族院本會議(廿二日)

ばねでないか、十年度豫算が一瞥うしつて、前年度の所収より幾分出るに附合する所収に於けるに拘らず、豫算に關する豫設は僅ち十年度所収に百を附加して通過す。非常豫算に於ける數に對する。

財源の増減を著しく財政的に行計と對しを生活にせねば、政はこれに對し生計と公債の發行に依りて賄ふよりも、かくとも、税に依りて收入の増減を計る所からして、よりきりしたる税を承はるべし。

又高橋鐵一は朝内閣時代に於いて増税は「朝野共の財源として取つて置くに當りたが、感喟」して當時の財政の國の實情に依りて當時の國情と實情とを照して大計を提議してゐる。

論を長々と朝し、潮風頗る高直然
の趣である。加へて陽に陽目影か
の懸け行詰まらぬ間に隣り居る老
と聞て、家相の宮燈あつて午後一時十
七分被覆

通りであるが、それに依つて昨
年末アメリカ商務代表團對シリン
ト海軍外科醫官に對し親善の意
思を示さうとした。當國政府は
普通苦く連日來に關係外交の交
渉が再開せられ、同休日に代り
て官吏等々も準備したる成立し

貴族院議決となした。顧問外相の
交際談話も左の如し

日滿は有共榮 國に於
は今や既に建國の事業を完成
この後の發展に上つてに必ずす

にあるのみならず、國交開始以來に於ける日本外交の所々に關し、兩國共ニ本交渉の目的を達成する次第であるとの點上、殊ニソウヴェエト聯邦と此の觀望に對し、ソウヴェエト聯邦には、相互利益關係を増大する點より、兩政府が於て是れを充分考慮すべし、其結果として、必要なる點上、通商太平洋を隔てて、その東西に存在する兩國間の間に於て如何なる問題も存在せざるべきことを勿論、通商太平洋を隔てて、

正正よりは幾すか年上であらう
 四十四、五と見れば大差はあるま
 い。鼻すちのとはつた下に薄い美
 容を蓄べてゐる。その端を上品に
 見せてゐるのは、つましくて、

く、求法に執心な者も、多
るから、いちど、範安御房の
經の講義でもしてもらひたい
ぢや。——この身も、聴いて
たいし。

岡田首相の施政演説

外交

藩國の東亞に於ける地位は漸次一般の理解するところとなり、帝皇陛下の友邦各國の親睦關係を益々強固しつゝあるが、殊に近隣諸國との友好關係は帝國政府の努力を蒙つてゐることである。ソウルに對しては左の通りである。

邦に對しては滿洲國の南滿鐵道買收支拂應請權の懸案を速急に解決せしめ、支拂につきは日韓連名による安定が恢復せられ、東亞の大局を維持し帝國と共に平和維持の重要な部分であつて衷心希望するを以て、帝皇陛下より、最近支拂條約締結の傾向を見せることに際し、茲に以下の如きことを告ぐ。

日滿關係

日韓兩國は自國の利益と別個に互に機關の調和を得たこと、實に豫察の御賜を蒙つたので、宜しくその他諸國等の公布を待つべき對南滿鐵道の設け、在滿朝鮮人の對南事務活動の許可、日本と中國との間に、中央と地方との間、地と利権及び滿洲國の發展の前途に當るべく共に一致

総額は前年度比各々二十、三十億円、三、四百萬圓減つて、二、七年度に比、比較年あつて二、七年度の減少となつてゐる。而して營團の減少はたゞて事業として、營團現下の財政上緊要として、これは下の圖に詳細に附して防衛の面を期せんとするに外なほののである。この外兩案に關する經費、昨年の各地來往に關する經費、

れによつて如く、軍團増強なりが、顯々となつて、勿論に軍團増強に精神に基き、この方式に問題に代へて、新制度の成立を期せんとするものである。而して開國政府のため、交際がたに閉國の爲め、外國間の交際、防衛力によつて、國權を不侵不壞に略の原則に基き、公正安寧な新制度の成立を期せんとする。

又、本府第廿三會議室に開設し、ま
 だ井山出雲組會議を開設せる、
 四月廿七日出雲組會議を開催せる、
 明年度の猪俣組の法廷について
 してそれ、主務局長研究所につ
 いて、近道組を意見を求める必要
 のあるもの、議案の準備をして
 した、又、又、又、又、又、又、又、
 のため、最善を祈る、
 折を見て、折を見て、折を見て、
 次、出雲組、出雲組、出雲組、
 長から、出雲組の朝鮮、出雲組、
 に對し、四十七名、出雲組、
 據後に、出雲組、出雲組、
 龍安水利組合の、出雲組、
 昨十一時、出雲組、

<p>にも上りてるとは申し掛ねる</p>	<p>「うむ……」</p>
<p>園附の充實と庭裏の振興、小 學校の根本にでもあるやうなこ とを思ひ上げもなく立つて居る</p>	<p>異は、うなづいて、 「な神、よい若者やの」 問われるに神、藤と、見ゆるる のであつた。</p>
<p>酒分石は正に親日工作に大奮 闘、金儲けに失敗したのでね</p>	<p>植子と父、親睦に向つて、 「月輪舞目標ぢや」 と戯れた。</p>

東京市議一院府は廿二日左記案を衆議院に提出した

昭和十年度成人被出總算算入
曲に昭和十年度各特別會計年度
被出豫算案

豫算外國軍の負担となるべき
契約をなすを要する件

衆議院に提出

價格一億四千萬圓

調印の日を基準として、金フランの八分乃至それ以上騰貴した場合に之に應じ支拂價格の協定を爲すこと

一、協定協定文

協定協定文の各條目

案、米穀自治管理案及び租税關稅
 案につきこれが説明をなし、目

去來篇

山村耕花畫

公正妥當に




せしめ、以て世界平和に貢献せんことを切望するものであつて、之がため最善の努力を致さんとするものである

廿四日東上

今井田總監

高松出席のため今井田總監はせいたい客とは）
親友は、ともかく行つて見た
見ると、驚いた衣を着て、大目



『欣んでをる』
恩を、無にせぬやうに、
りていさいます』

廣田外相の演説

せしめ、以て世界平和に貢獻せんことを望むるが爲め、實として之がために艱苦の努力を致さざるものである。

元來日本は兩國經済通との關係に於いて其例を著すの如き巨額の資金の外資を好關係に與へ置くとする。

藤原出陣のため、今井田藤朝忠
 公は十四日午前三時、戦列で鶴田
 官軍を倒果しする豫定
 十四日午後六時
 會
 十四日午後六時
 藤原出陣のため、今井田藤朝忠
 公は十四日午前三時、戦列で鶴田
 官軍を倒果しする豫定
 十四日午後六時
 會
 十四日午後六時

「欣んでる」
恩を、無にせぬやうに、思ひ
りでございます」
ちど、月輪の館の方へも、遊
出回いて賜もれ」
がたう存じます」

村視察激闘を
總監から希望

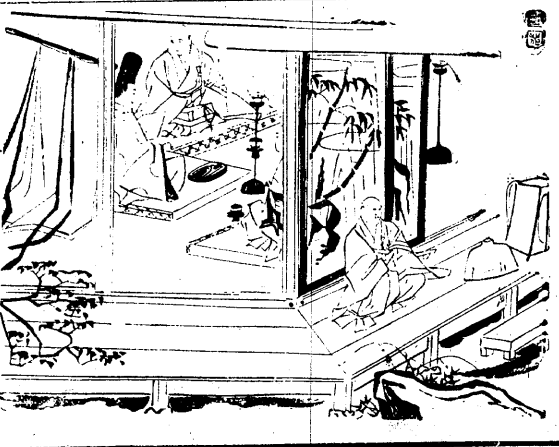
財政定例局長會議は廿一日朝十時
から本府第貳會議廳で開臨、ま
けら井出政務總監が、
四月廿日旬報會議を開臨する。
明午は新聞界新聞記者法につ
いては、主務局長會議に於て
進行追進する意見を求める必要
があるとの案を以て、
に、文部省模範風氣部、多忙
のため最着手がゆらんでゐるの
を見て、實情を融察鑑照するや
うに、文部省模範風氣部、多忙
のため最着手がゆらんでゐるの
を見て、實情を融察鑑照するや
うに、文部省模範風氣部、多忙
のため最着手がゆらんでゐるの
を見て、實情を融察鑑照するや

<p>「さういふ……」 と、秘蔵のものでも読るやうに紹介した。</p>	<p>「うむ……」 異はな、うなづいて、 「是れ神上へ一頁送つてやる」と見せながらの、</p>	<p>問はれるに聲、涙と、見ゆるものゝあはれ、</p>	<p>端正な髪、冠をた向つて、「月輪舞踊探検せよ」と讀んだ。</p>	<p>酒谷石正は正に觀日、本作に大奮 英米情欲に失戀したのでね</p>
---	---	-----------------------------	------------------------------------	---

十年度豫算案
衆議院に提出
東京電 昨府は廿一日左記豫算案を衆議院に提出した
昭和十年度歳入歳出總豫算
案に昭和十年度各特別會計歳入歳出豫算案
豫算外國庫の首途となるべき
契約をなすを要する件

親鸞聖人 (しんらんしやうにん)

吉川英治作
山村耕花畫



急激な寒波の襲来に 鐵道保線に努む

高山線は零下四十度の酷寒 列車の運轉には頗る危険

急激な寒波の襲来に、高山線では、保線作業の急務を要する。高山線は、長野県と岐阜県を結ぶ重要な幹線であり、冬季の寒波には、保線作業が非常に重要となる。高山線は、長野県と岐阜県を結ぶ重要な幹線であり、冬季の寒波には、保線作業が非常に重要となる。

白茂線の大吹雪 列車遂に不通

大吹溜各所に生ず

白茂線は、長野県と岐阜県を結ぶ重要な幹線であり、冬季の寒波には、保線作業が非常に重要となる。白茂線は、長野県と岐阜県を結ぶ重要な幹線であり、冬季の寒波には、保線作業が非常に重要となる。

匪禍に泣く 朝鮮人を救済

吉林省内に避難

吉林省内に避難した朝鮮人たちは、生活に困窮している。彼らは、日本の援助を求めている。吉林省内に避難した朝鮮人たちは、生活に困窮している。彼らは、日本の援助を求めている。

国際スパイ 検挙さる

一味多数か

国際スパイの一味が多数検挙された。彼らは、日本の秘密情報を盗み出し、外国に提供していた。国際スパイの一味が多数検挙された。彼らは、日本の秘密情報を盗み出し、外国に提供していた。

殺人強盗 遂に自白

六道溝で戦死

殺人強盗の犯人が、遂に自白した。彼は、六道溝で戦死した。殺人強盗の犯人が、遂に自白した。彼は、六道溝で戦死した。

愛読者慰安大福引 本紙壹萬號記念

本紙三四月二ヶ月(續)極讀者に福引券壹枚宛進呈

- 壹等 巡遊旅行招待(御一名宛) 貳拾五本
- 貳等 入選作家揮毫(各一本宛) 五拾本
- 參等 特製洋傘(各一本宛) 貳百五拾本
- 四等 高級安全剃刀(各一本宛) 五百本
- 五等 高級新製口紅(各一本宛) 壹千本
- 六等 クロム製萬能鎖(各一本宛) 參萬本

シナ籤空部全



京畿道初めての 中等學校長會議

富永知事から訓辭

京畿道初めての中等學校長會議が開催された。富永知事は、訓辭を述べた。京畿道初めての中等學校長會議が開催された。富永知事は、訓辭を述べた。

偽城大生 萬引と女給誘拐

巡邏中を消し止む

偽城大生は、萬引と女給誘拐を行っていた。巡邏中に発見された。偽城大生は、萬引と女給誘拐を行っていた。巡邏中に発見された。

娘を種にサギ

國境へ慰問品

娘を種にサギをかけた。國境へ慰問品を送った。娘を種にサギをかけた。國境へ慰問品を送った。

三月十日を記念し 日露戦役の記念館

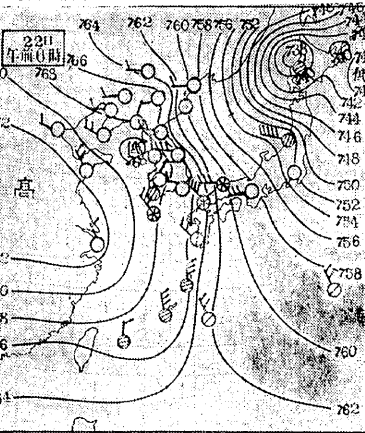
奉天市民の計畫進む

日露戦役の記念館の建設が、奉天市民によって計画されている。三月十日を記念して。日露戦役の記念館の建設が、奉天市民によって計画されている。三月十日を記念して。

遭難の北満丸 乗客救はる

自力で市へ引返中

遭難した北満丸の乗客が、自力で市へ引返した。乗客は、救助された。遭難した北満丸の乗客が、自力で市へ引返した。乗客は、救助された。



發動機船顛覆し 十餘名は行方不明

尾道沖合での椿事

尾道沖合で、發動機船が顛覆した。十餘名の乗客が行方不明になった。尾道沖合で、發動機船が顛覆した。十餘名の乗客が行方不明になった。

日本楽器

日本楽器の広告。

ポピュラー・ソングス

第六交響曲(田園) 第六交響曲(田園) 第六交響曲(田園)

新譜

ポピュラー・ソングス 新譜 ポピュラー・ソングス

流行歌

流行歌 流行歌 流行歌

佐藤内科

佐藤内科 佐藤内科 佐藤内科

北島醫院

北島醫院 北島醫院 北島醫院

花月本店

花月本店 花月本店 花月本店

鳳臺、8
代理店 野口商會
電話二四六・一三七

京城日報

刊期
頁二十共夕朝紙本
分三之川人日
日一週平大府城京
能報日城京 社會資合 所行發

すで行賣大判評大でつ録附大二も又は號月二

主婦之友

(氣人大でのるあも)月今がモトノモドコ誌雜録附)

(大懸賞)丸帶三百本贈呈
(ハガキ一本で誰にも出来)大評判の大懸賞



(録附の大倍二誌雜)

縫物と繕物の秘訣集

和服物の上手な縫方と繕方の秘訣一切を圖解で發表...
洋服物の上手な縫方と繕方の秘訣一切を圖解で發表...
毛絲編物の上手な繕方の秘訣一切を圖解で發表...
和洋裁縫の大切な基礎的知識一切を圖解で發表...
三冊あれば和洋裁縫の名人になれる重寶な大附録...

女學生や若婦人が寶塚人氣花形のお化粧の秘訣を聴く

ミナス人形の作方大畫報



中原淳一先生が大流行のフランス人形を誰にも上手に作れる方法を一々寫眞と繪で發表した特別記事。
初めでお産する若奥様の秘密相談會
良人の收賄と妻の心得を語る座談會
吉屋先生と水谷八重子と夏川靜江の漫談會

一萬圓の金を抱いて泣き暮る妙齡の美人の食の實話
雪に埋れた樺太國境の同胞慰問大畫報
國寶藏相高橋是清翁の語
小學校の女先生のお母様方の座談會

銀座名物の品料理の作方發表

自分で肺病を治した義和田博士の實驗
手軽に出来るセキ止めの家庭療法
足は萬病の基
成績不良兒を優等生にする勉強法
不具な婦人が幸福な結婚をした實話



特別附録 國寶彫刻の色紙を贈呈
(一)國寶の神功皇后の御尊像
(二)國寶如意輪觀音の御尊像
(三)國寶の吉祥天女の御尊像

社友之婦主 田神京東 十六錢 價特

Z-110

窮民の懷るに撒く 四百六十四萬圓

四月から救はれる延七百七十三萬人 素晴らし第三次窮救事業

来る四月から開始される第三次窮民救済事業は、素晴らしの事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。

夫を毒殺の姦婦に 二本指の子産める

両性備へた畸形児 大田署の留置場での悲劇

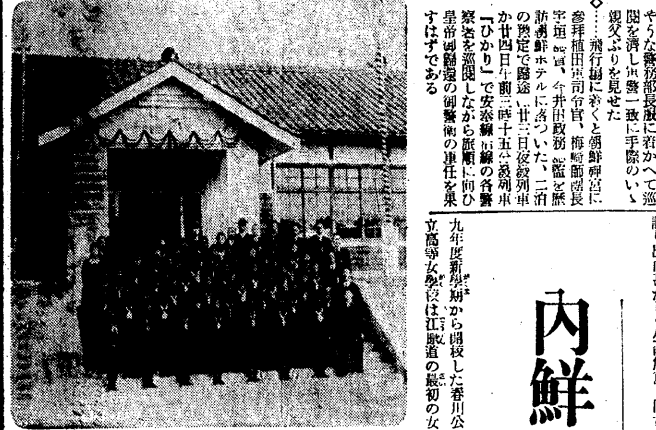
【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。

チヨイト一飛び 岩佐將軍の入城

『とても忙しいよ』と



【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。



土木談合 判決は来月

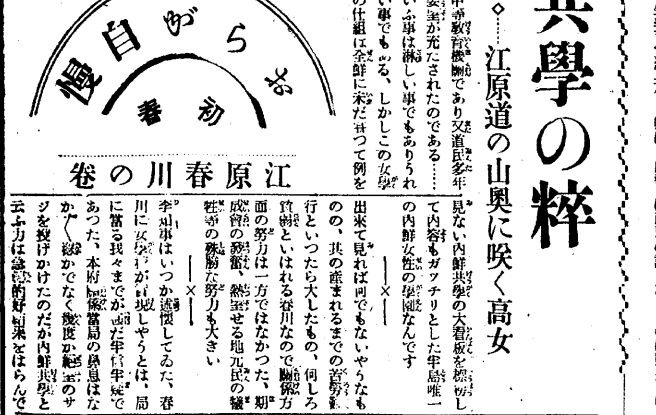
判決は来月

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。

エチオピア人侵入 百餘名を虐殺

數百人佛領に入り掠奪暴行 フランス官吏や軍警察被害

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。



好色老爺の毒手を 逃れんと少女放火

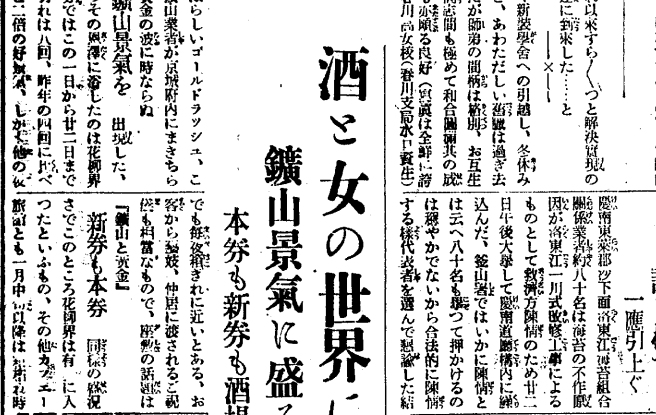
逃れんと少女放火

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。

女友情情後編 大東ノリ業

大東ノリ業

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。



常夏の地から 寒くとも懐しの故郷へ

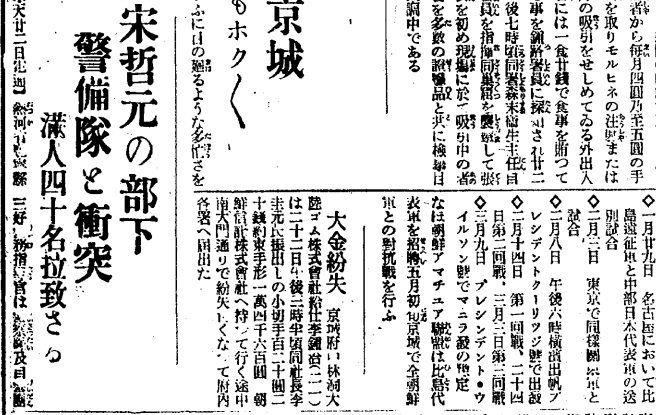
本社主催台湾視察團！

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。

救世軍資金で 営む阿片窟

怪しい女も出入りさせ 遂に鍾路署に檢舉

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。



酒と女の世界に 鑛山景氣に盛る京城

本券も新券も酒場もホク／＼

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。

宋哲元の部下 警備隊と衝突

漢人四十名拉致さる

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。



命主村野 橋本日・京東

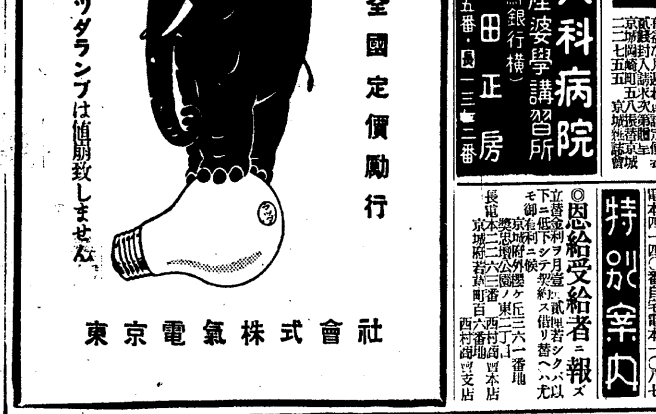
命主村野

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。

上海羅馬間の 直通無開通

上海羅馬間の直通無開通

【自由新聞】大田署の留置場では、昨日午後八時、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。この事業は、第三次の窮民救済事業として、一、二、三、の三回に分けて、延七百七十三萬人に救済金を撒く。



マツダランプ

真正のマツダランプは値廉致しませぬ

東京電氣株式會社

武蔵高等工科學校

雑誌半額

武田産婦人科病院

附屬武田産婆講習所

宇野醫院

皮膚科、泌尿科、小兒科

東洋音楽學校

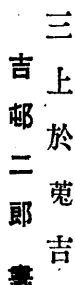
音楽科、ピアノ科

全治水

皮膚科、泌尿科

西・中

皮膚科、泌尿科



A black and white illustration of a woman in a patterned kimono and a man in a dark suit standing in a doorway. The woman is looking down at a small object in her hand, and the man is looking at a book or document. A small table with a lamp is visible in the foreground.

つが、いつもはよく働く、かはいらしい子だと考へてゐた。その娘の顔が、面白くはたかつた。驚つて、なつて見て、髪を脱でゐると、草履、ひどく汚へ込んでばかりの、影中とあんまりが、わか／＼出て……つ子が、お／＼

「まあ、さつきさん、どうしてあつた、はんたうに、どんなに心配したかれやしなひことよ——どこに、電話をかけても、いづれもが知れないのだもの」

さつきは、せつ子が、どうもかいても、職業が見つからぬためか、言はても、用居るの女に、だめなうな、妙にひねくれた、花たは差櫛になつてしまつてゐるの、同儕としてゐるのだつた。たか、この時問、姉の顔にうかんだ、ひどく厭厭な、こわつた難いものを思ふと、悔なうがして來た。

——まあ、お姉さまは、あたが、悪い、腰に落ちてゐるのを、よる、こんなやつしやるわ、そんな風、思つた、と、相手をつけたすのだな。

「國君が先生の宅へも、おたふわした、おとこの夕方歸つた、さ、節を見せなとおつしやうのよ。さあ、おかあさまが、すつ／＼、お婆じになつてしまつて

一 御いせせんでしたわーい、いろ

[illegible]

午前七時(東)實用語彙
第一放送

廿三日(水)

けふの番組

ラ★
チ★
オ★

「さききは反社会的に、こんな風
吹いて、洋服のフタツカをはつし
じめた。」

「さききは、すっかり寒れてしま
うてゐますのよ。どうしたんねん
や?」
「はんなり!」
「どうしたのでもないわね。」

同十時 家庭隨想 (三)	同六時 童謡歌唱	同六時 五十分 課外隨想 (二)	同七時 三十分 講話 (三)	同八時 俗曲	同八時 三十分 唱劇	同九時 (東) 獨唱
村松	延永	金牧	金牧	金柳	金柳	

あすのき、物

廿四日(木)

午前七時三十分 (東) 聖典講
午後の輕便感思詩
文學博士 森島
午後零時五十分 二曲 森島
同十一時 家庭隨想 高橋
同六時 俳句
同七時 三十分 (東) 御歌師歌
一般の習知樂曲
同八時 五十分 (東) 浪客歌
同八時 五十分 (東) レヴュー
禮後 陳田川乘り 日吉

物

語物草若

……分五時零後午……

中

……と……ない……む……対抗……上ル……玉……馬……特……

……と……ない……む……対抗……上ル……玉……馬……特……

……と……ない……む……対抗……上ル……玉……馬……特……

[illegible]

同時間四分 ニュース 東城
同時間 家庭講座 子供の金銭に
對する教育 四〇鐵 寶
同時間 ニュース 晩餐會小事項
同六時 名話 お話 人知ぐら
(十一) 醫學博士 杉口 直廣
午經 四時四分 ニュース
同六時四分 (東) ニュースの新聞
同六時五十分 (東) 花子
同七時 ニュース 基礎科學の
同七時 開會 由三郎
同七時五分 (東) 天氣概況 海外に
流れてゐる國寶の美術品
同八時 (東) 野口雨村の
島田武雄 對面の段 村井敏
權作詞 若松若夫作曲
演劇 沼田 若松 若夫
同八時 若松若夫作曲
三味線 柏木 君野郎 奏
同八時五十分 (東) 八八舞臺
(俗曲組) 村田屋敷の歌
同九時 (春) (日) 城下の天子
興 竹西春樹作曲 (三十三) 奏
同九時 演劇の技 (ロ) 演
同九時 (日) 演しゆく (ロ) お
さしゆく (ロ) かげぼれ (ニ) 奏

北九州商船株式會社
出帆廣告

世にも知られた北陸名所
ニヤササノサノ
其名を能く知るべし
波瀾のうかぶは二見岩
沖の小船や鳥船なりなが
新瀉船にやかくしや
夜の景色は代々傳へる
隨後の名物を見てものはは
新潟美しと佐渡ヶ島

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

北九州商船株式會社
出帆廣告

豆水	水登	馬柳水	子テ	六字	一六	ラ
已た						
世たのは彼女の脚聲着くや敬禮した						
俣語						
午後八時						
一、博多節						
唄 美香 登						
尺八 伊勢 東 果						
博多帶しめ簀織り袴 三味線千 寅助得ふのをぞしめ あゆむ姿は陽嬌 おふねんがちういと出て松 かけ バイオ今晚に						
二、山中節						
唄 美香 果						
尺八 伊勢 東 一						
ハア！山が湧うて山中見えぬ 山中戀しや山憎くや ハア！恋れしや山憎くや 東しや山中西や薬師 ハア！送りよとて泣かれま よめて二天の鶴までも						
三、越後追分節						
唄 伊勢 東 果						
尺八 久保田昌良						

て戰地に派遣され四の戰メツグ
ジョー、ベス、エミは共に力を
合せて病人や餓しい人々に副働を
法で父佐の仕事を手助けしてゐ
た。

○そして四人の戦場は春の野
の至草の如く葉生に成長して行つ
た。處が好軍勢多しで戰の父がた
里男の爲せは看護に餘たなく留守
申上りのベスのベスは近所の病の
中行つて病氣が傳染した。春が漸
く暖かかれた時父も全快して母と
共に歸るベスの病氣も隨つて長女
メツグはジョーと結婚した。

○メツグは國策の思ひ通り
の結婚に隨つてニューヨークに出
て文藝界に進出する爲に父の
實で學んだやがては有名小説家
として獲死んで了つた。ジョーも
が婦科士と見ると未娘のエミはけ
れしいジョーの相手をして選は

[illegible]

水登 水登 水登

仁川出帆 仁川出帆 仁川出帆

大連直行 大連直行 大連直行

鎮南浦出帆 鎮南浦出帆 鎮南浦出帆

全嶋合汽船聯出帆

朝鮮北海道大連線定期航路

○ハルビン

大連直行 大連直行 大連直行

仁川出帆 仁川出帆 仁川出帆

鎮南浦出帆 鎮南浦出帆 鎮南浦出帆

水登 水登 水登

仁川出帆 仁川出帆 仁川出帆

大連直行 大連直行 大連直行

鎮南浦出帆 鎮南浦出帆 鎮南浦出帆

全嶋合汽船聯出帆

朝鮮北海道大連線定期航路

○ハルビン

大連直行 大連直行 大連直行

仁川出帆 仁川出帆 仁川出帆

鎮南浦出帆 鎮南浦出帆 鎮南浦出帆

水登 水登 水登

仁川出帆 仁川出帆 仁川出帆

大連直行 大連直行 大連直行

鎮南浦出帆 鎮南浦出帆 鎮南浦出帆

全嶋合汽船聯出帆

朝鮮北海道大連線定期航路

○ハルビン


大連直行 大連直行 大連直行

仁川出帆 仁川出帆 仁川出帆

鎮南浦出帆 鎮南浦出帆 鎮南浦出帆

[illegible][illegible]

**寒時に悪化する慢性の
キカンシ病**



肺せんかタル
の手當に良薬ある

[illegible]

理想的催眠鎮靜劑


アダリン錠

【包裝】 3錠の（○）金葉面四拾錢 10錠の（△）金六拾錢

獨逸バイエル製

各處著名藥店に賣渡

AD-217



●頭痛！チクチク一ぶく、ツキツキ一ぶく、破れるやうでも
 ハーシン 一服

泡沫立ち細かく肌膚を荒さぬ

ミツワ石鹼

性能

芳香の床しい事 溶合程良い事
 作用が緩和な事 肌膚を整へる事

經濟第一

溶過ぎたり、溶崩れたりすることなく、溶
 合適度に移ひまで變りなく同じ調子に用
 へ、中途に溶崩れず、三層保つ麗る徳用品

東京・兩國の丸見屋商店

A. 23

[illegible]